

八代東ロータリークラブ 地区委員出向規定

第 1 条(目的)

本規定は、八代東ロータリークラブ(以下「本クラブ」という。)の会員がロータリー地区委員として出向するにあたり、その基本的な方針を定めることを目的とする。

出向は、会員の資質向上、クラブの発展、地域社会の繁栄に資するとともに、ロータリーの理念と活動の推進に寄与するものであり、本クラブとして積極的に支援する。

第 2 条(出向の原則)

1. 本クラブは、会長および会長エレクトの推薦を経て、理事会の承認をもって会員を地区委員として出向させることができる。
2. 出向にあたっては、クラブ内での調和と会員の同意を尊重し、クラブの運営に支障をきたさないよう配慮する。

第 3 条(機会均等の原則)

1. 出向の機会は、会員の資質向上のため、できる限り均等に与えられるよう努める。
2. 特定の会員に偏った出向が継続しないよう、理事会は適切に配慮する。
3. ただし、クラブからの特別な要請に基づく場合には、この限りではない。

第 4 条(任期)

1. 出向の任期は 1 年ごととし、延長は原則として最長 2 年までとする。
2. 2 年目以降の継続については、会長および会長エレクトとの協議後、理事会の承認を経て決定する。
3. ガバナー、ガバナー補佐、または特定の地区委員会における役職等、地区規定により任期が 1 年に限定される場合、または再任が求められる場合には、この限りではない。
4. 任期途中での辞退は、やむを得ない事由がある場合を除き、慎むものとする。

第 5 条(支援と責任)

1. 本クラブは、出向会員に対し、必要な協力と理解をもって支援する。

2. 出向会員は、クラブの代表としての自覚を持ち、クラブと地区との架け橋となるよう努める。
3. 出向会員は、地区での奉仕活動を行うと同時に、クラブ内の親睦や例会出席をおろそかにせず、クラブ活動の充実にも責任を持つ。
4. 出向期間中に得た知識・経験は、例会報告や委員会活動を通じてクラブに還元する。

第 6 条(例外規定)

1. 特別な役職(例:ガバナー、ガバナー補佐、地区主要委員長等)に任命された場合、任期は地区規定に従う。

第 7 条(附則)

1. 本規定は理事会の承認をもって施行する。
2. 規定の改正は理事会の決議をもって行う。

本規定は、令和 8 年 1 月 1 日より施行する。